

平成25年度瀬谷区地域福祉保健計画次期計画策定にむけた調査

平成25年度 瀬谷区・暮らしや地域に関する意識調査

調査結果報告書

平成25年12月

瀬谷区区政推進課

瀬谷区福祉保健課

目 次

1. 調査の概要	1
2. 回答者の属性	2
住まいの周辺の生活環境.....	6
現在の区役所の仕事.....	8
余暇・休日に行っている文化活動.....	10
日ごろの生活の心配事.....	13
地域で行っている福祉や保健の活動.....	14
災害時の地域での助け合い.....	17
顔の見える関係づくり.....	19
隣近所の人困っていた場合の手助けについて.....	21
自由記述に見る区民の関心ごと.....	24

「集計結果の見方」

- ①図（グラフ）の中で使用されているアルファベットNは、その設問に対する回答者数を表す。
- ②回答の比率（すべて百分率(%)で表示）はその設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、全ての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

※数値の見方

数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（N=1,073）

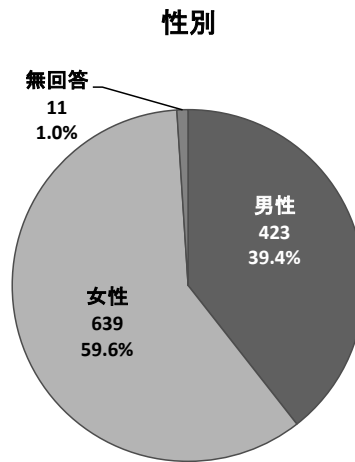
1. 調査の概要

調査対象	区内に居住する18歳以上の男女
標本数（発送数）	3,000票
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査実施	2013年9月
回収数	1,108件（有効回答数1,073件）
回収率	36.9%

2. 回答者の属性

1) 性別

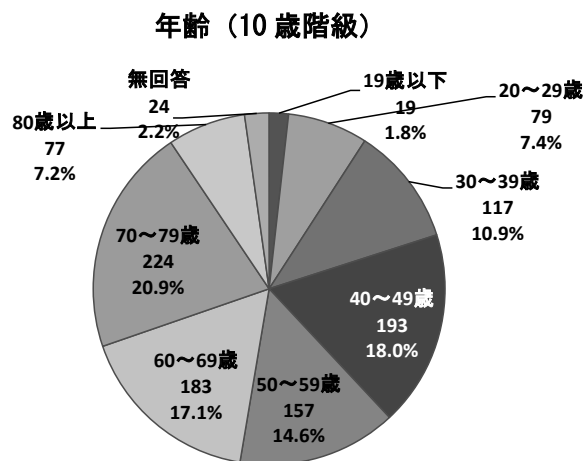
- ・男性 39.4%、女性 59.6%



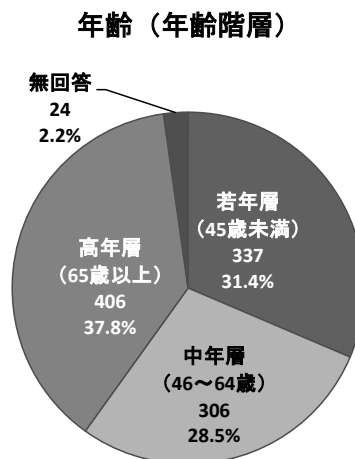
N=1,073

2) 年齢別

- ・10代～30代 20.1%。40代 18.0%、50代 14.6%、60代 17.1%、70代 20.9%
- ・若年層(45歳未満) 31.4%、中年層(45歳から64歳) 28.5%、高年層(65歳以上) 37.8%



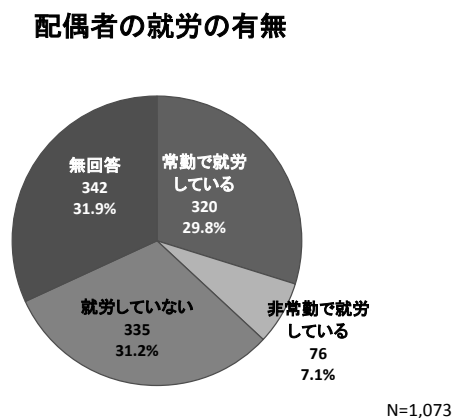
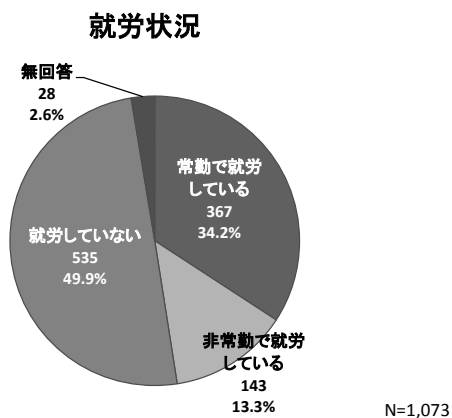
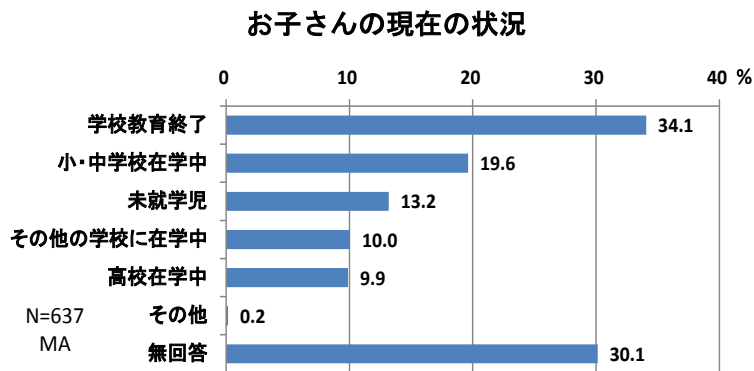
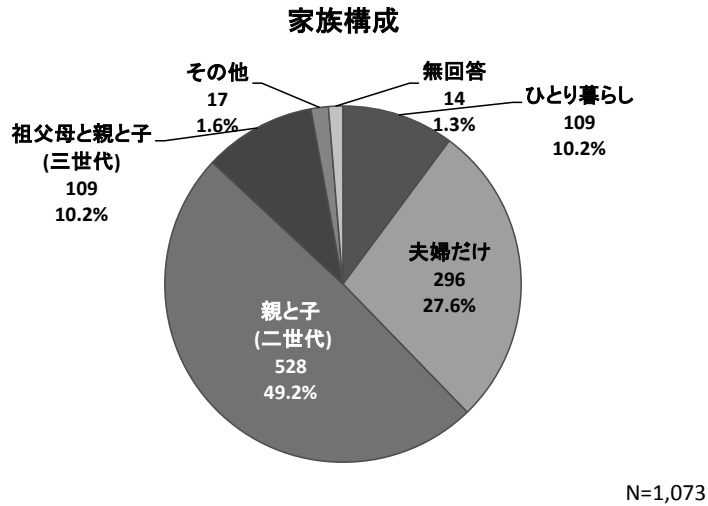
N=1,073



N=1,073

3) 家族構成・就労状況

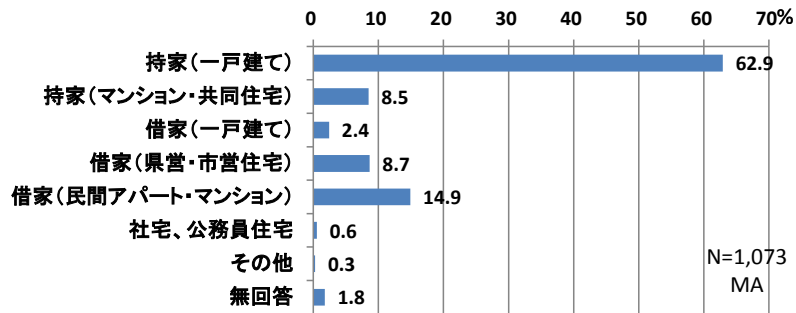
- ・親と子(二世代)が49.2%と半数を占める。次いで夫婦だけが27.6%。三世代とひとり暮らしがそれぞれ10.2%
- ・お子さんの状況は、未就学児を抱える子育て世帯が13.2%
- ・就労状況では、常勤、非常勤合わせて就労している人が47.5%、就労していない人が49.9%とほぼ同じ割合



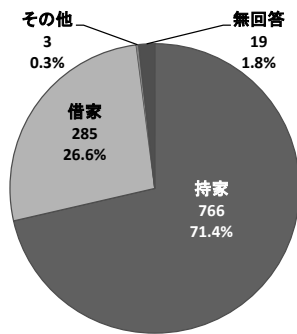
4) 住居形態

・所有形態では、持ち家が71.4%、借家が26.6%、建築形態別では、戸建て65.3%、集合住宅32.6%となる

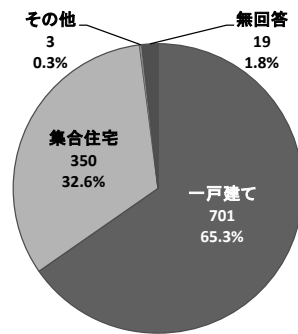
住居形態



住居所有形態

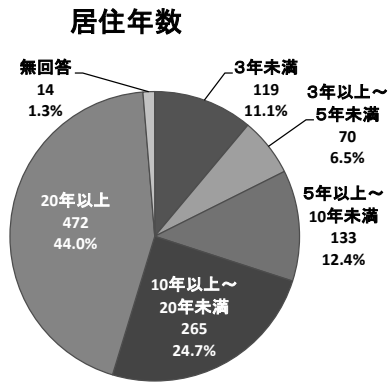


住居建築形態



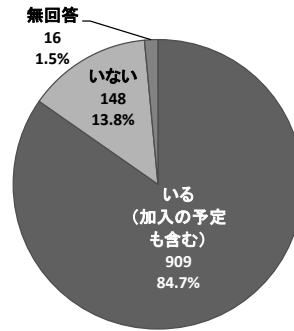
5) 居住年数等

- ・ 20年以上が44.0%、10年以上20年未満24.7%で10年以上が7割近くを占めている
- ・ 最近5年間に居住した人は17.6%
- ・ 町内会・自治会への加入率は84.7%



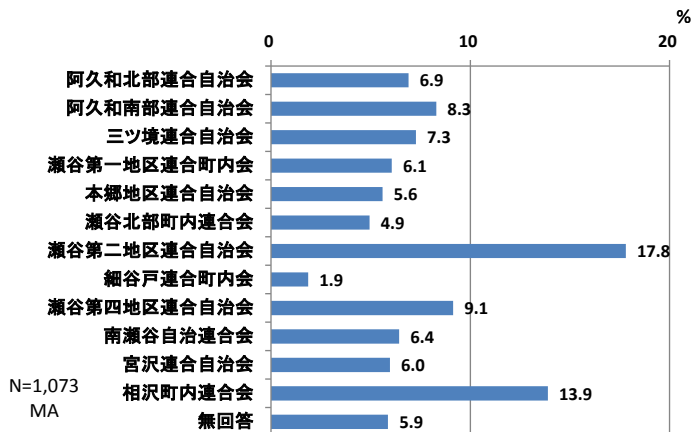
N=1,073

自治会・町内会への加入状況



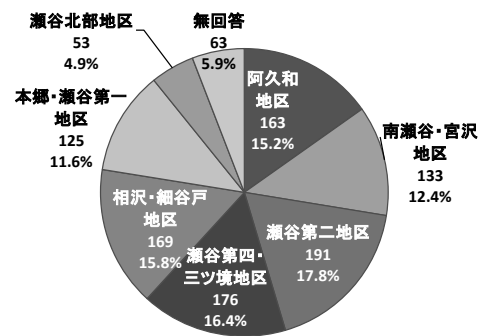
N=1,073

居住地域-連合自治会町内会別



N=1,073
MA

居住地域-地区別



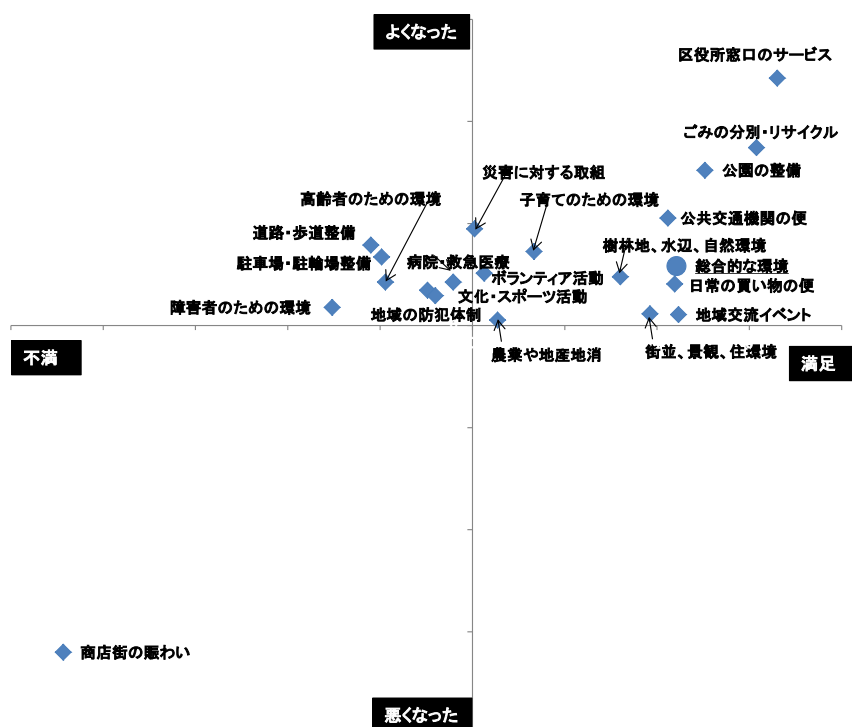
N=1,073

住まいの周辺の生活環境

満足度と以前と比べた変化

- ・「商店街の賑わい」を除き、いずれの評価項目も以前に比べて「よくなった」と評価されている。20項目中12項目で「満足」と評価されており、瀬谷区の生活環境は良好であるという評価であった。
- ・最も評価の高かった項目は「区役所の窓口サービス」であった。
- ・以前に比べて改善されているものの、その満足度がやや低いとされる項目は、「障害者のための環境」「道路・歩道整備」「駐車場・駐輪場整備」「高齢者のための環境」「地域の防犯体制」「文化・スポーツ活動」「病院・救急医療」である。

満足度と以前と比べた変化



満足度(※)上位5位 (※)「満足」

- 第1位 公共交通機関(電車・バス)の便(24.0%)
- 第2位 日常の買い物の便(23.3%)
- 第3位 身近な区役所窓口のサービス(17.4%)
- 第4位 ごみの分別・リサイクルなどの取組(16.6%)
- 第5位 公園の整備状況(14.4%)

満足度(※)上位5位 (※)「満足」+「やや満足」

- 第1位 ごみの分別・リサイクルなどの取組(65.4%)
- 第2位 日常の買い物の便(59.1%)
- 第3位 身近な区役所窓口のサービス(58.6%)
- 第4位 街並みや景観、地域の住環境(58.4%)
- 第5位 公共交通機関(電車・バス)の便(57.6%)

不満度(※)上位5位 (※)「不満」

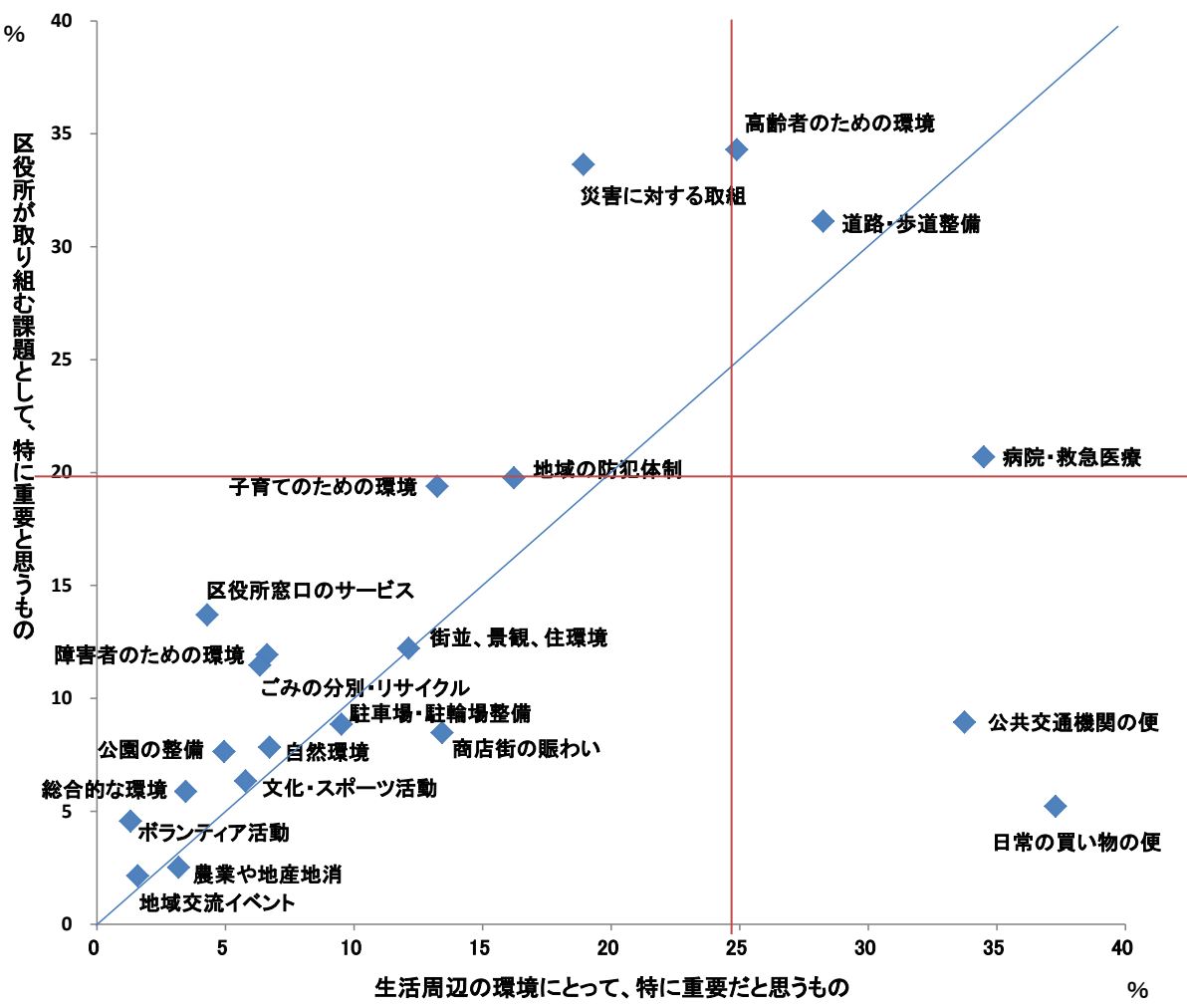
- 第1位 商店街の活力、賑わい(30.1%)
- 第2位 道路・歩道の整備状況(21.2%)
- 第3位 駐車場・駐輪場の整備状況(16.9%)
- 第4位 病院・救急医療などの環境(14.3%)
- 第5位 公共交通機関(電車・バス)の便(13.8%)

不満度(※)上位5位 (※)「不満」+「やや不満」

- 第1位 商店街の活力、賑わい(61.6%)
- 第2位 道路・歩道の整備状況(50.0%)
- 第3位 駐車場・駐輪場の整備状況(43.0%)
- 第4位 病院・救急医療などの環境(42.2%)
- 第5位 日常の買い物の便(35.6%)

生活周辺の環境にとって、特に重要だと思うもの、区役所が取り組む課題として、特に重要と思うもの

- ・「生活周辺の環境にとって重要だと思うもの」の上位3項目は「日常の買い物の便」「公共交通機関の便」「病院・救急医療」であった。この3項目については「区役所が取り組む課題」としての重要度は低く、「生活周辺の環境にとって重要だと思うもの」のうち「道路・歩道整備」「高齢者のための環境」「災害に対する取組」の3項目は「区役所が取り組む課題」としての重要度も高くなっている。
- ・行政が取り組むべき項目と、企業等の民間が取り組むべき項目とを区民は比較的明確に意識していることがわかる。

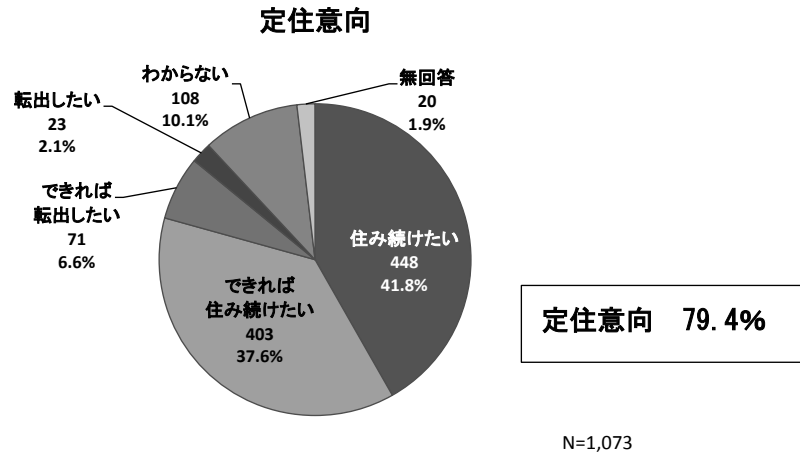


- 生活周辺の環境にとって、特に重要だと思うもの**
- 第1位 日常の買い物の便
 - 第2位 病院・救急医療などの環境
 - 第3位 公共交通機関(電車・バス)の便
 - 第4位 道路・歩道の整備状況
 - 第5位 高齢者のための環境

- 区役所が取り組む課題として、特に重要と思うもの**
- 第1位 高齢者のための環境
 - 第2位 地震や水害などの災害に対する取組
 - 第3位 道路・歩道の整備状況
 - 第4位 病院・救急医療などの環境
 - 第5位 地域の防犯体制

定住意向

・瀬谷区に「住み続けたい」41.8%、「できれば住み続けたい」37.6%を合わせると、区民の79.4%が定住意向を示している。

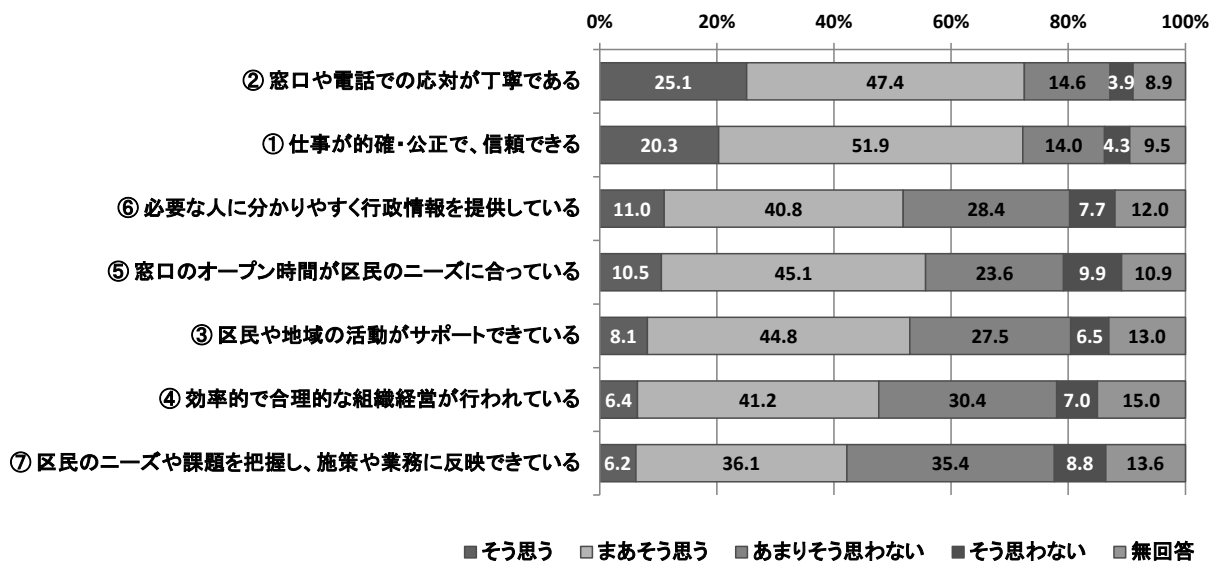


現在の区役所の仕事

区役所の仕事ぶり

・現在の区役所の仕事では、「窓口や電話の応対が丁寧である」で“そう思う”“まあそう思う”の合計が72.5%で最も高く、次いで「仕事が的確・公正で信頼できる」が72.2%と高い。「必要な人に分かりやすく行政情報を提供している」「窓口のオープン時間が区民のニーズに合っている」「区民や地域の活動がサポートできている」では、“そう思う”“まあそう思う”の合計が50%を超えているが、「効率的で合理的な組織運営が行われている」「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」では“そう思う”“まあそう思う”の合計が50%を下回っており、とくに「区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている」は、“あまりそう思わない”“そう思わない”の合計の方が上回る結果となった。

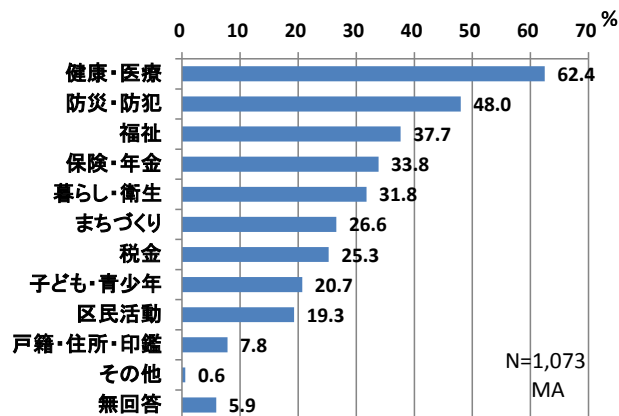
区役所の仕事ぶり



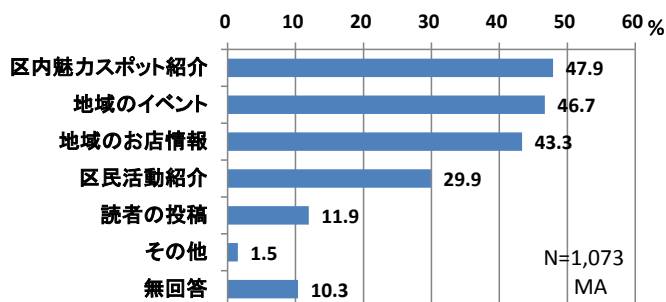
広報よこはま瀬谷区版について

- ・ 広報に掲載してほしい情報として充実してほしい分野は、「健康・医療」が62.4%と最も高く、次いで「防災・防犯」48.0%、「福祉」37.7%、「保健・年金」33.8%、「暮らし・衛生」31.8%と続いている。
- ・ 広報区版の記事として、今後読んでみたいと思う情報は、「区内魅カスポット紹介」47.9%、「地域のイベント」46.7%、「地域のお店情報」43.3%が上位3項目であり、エンターテインメント性のある記事が期待されていることが分かる。

広報よこはま瀬谷区版の行政情報の記事として、充実してほしい分野



広報区版の記事として、今後読んでみたいと思う情報

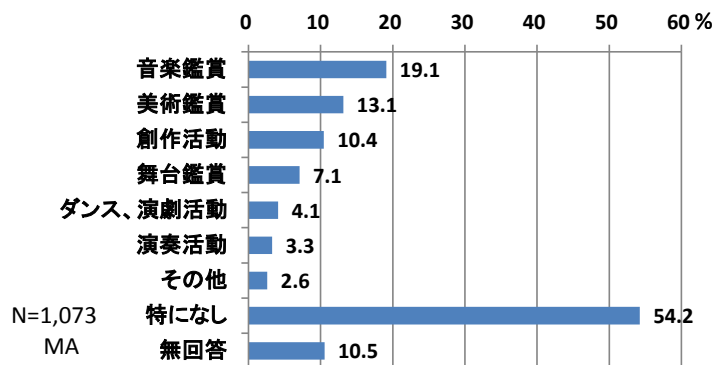


余暇・休日に行っている文化活動

余暇・休日に行っている文化活動

- ・余暇・休日に行っている文化活動では、「特になし」が54.2%と半数以上が行っていないと回答している。行われている文化活動の分野としては、「音楽鑑賞」19.1%、「美術鑑賞」13.1%、「創作活動」10.4%となっている。

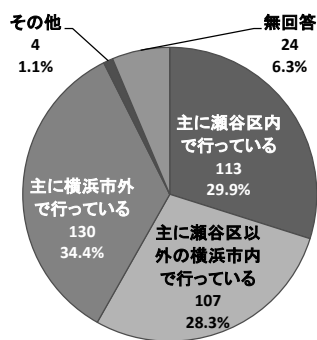
余暇・休日に行っている文化活動



余暇・休日に行っている文化活動の場所と満足度

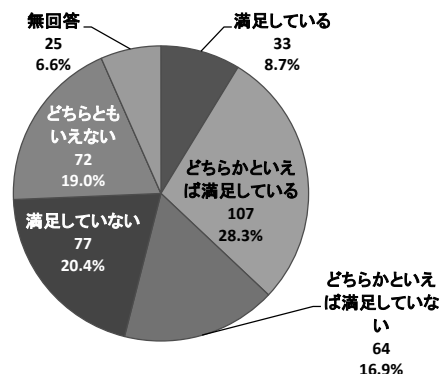
- ・活動の種類と活動場所の関係では、創作活動、ダンス・演劇活動は「主に瀬谷区内で行っている」、音楽鑑賞、演奏活動は「主に瀬谷区以外の横浜市内で行っている」、美術鑑賞、舞台鑑賞は「主に横浜市外で行っている」という回答の割合が高く、全体としては「主に横浜市外で行っている」という回答の割合が高い。
- ・各種類別の満足度では、舞台鑑賞の満足度が低く、これは舞台鑑賞が主に横浜市外で行われていることによる影響と考えられる。

余暇・休日に行っている文化活動の主な活動の場所



N=1,073

区内の文化活動の場所についての満足度



N=1,073

主に行っている文化活動・活動場所・満足度

	合計	問5-1 余暇・休日に行っている文化活動の主な活動の場所				
		主に瀬谷区内で行っている	主に瀬谷区以外、横浜市内でやっている	主に横浜市外で行っている	その他	無回答
全体	378	29.9	28.3	34.4	1.1	6.3
問5 余暇・休日に行っている文化活動						
美術鑑賞	141	18.4	32.6	45.4	0.0	3.5
創作活動（絵画、書道、華道、茶道など）	112	50.0	21.4	22.3	0.0	6.3
舞台鑑賞	76	17.1	30.3	48.7	0.0	3.9
ダンス、演劇活動	44	47.7	29.5	20.5	0.0	2.3
音楽鑑賞	205	25.9	32.7	30.7	2.0	8.8
演奏活動	35	22.0	45.7	25.7	0.0	5.7
その他	28	21.4	28.6	50.0	0.0	0.0
特になし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

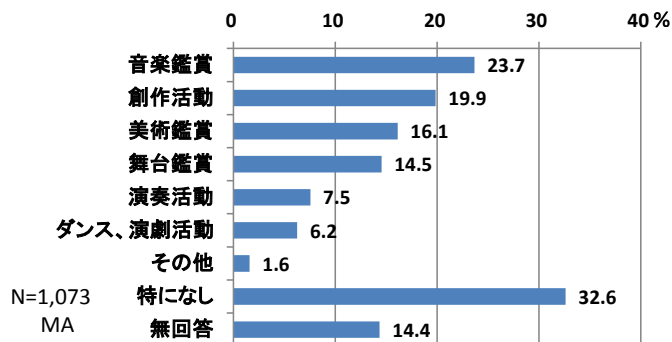
	合計	問5-2 区内の文化活動の場所についての満足度						
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	どちらともいえない	その他	無回答
全体	378	8.7	28.3	16.9	20.4	19.0	0.0	6.6
問5 余暇・休日に行っている文化活動								
美術鑑賞	141	5.0	31.2	18.4	24.8	17.0	0.0	3.5
創作活動（絵画、書道、華道、茶道など）	112	10.7	35.7	14.3	17.0	15.2	0.0	7.1
舞台鑑賞	76	6.6	28.9	11.8	30.3	19.7	0.0	2.6
ダンス、演劇活動	44	11.4	29.5	13.6	27.3	13.6	0.0	4.5
音楽鑑賞	205	5.9	26.8	17.1	21.0	21.5	0.0	7.8
演奏活動	35	2.9	31.4	22.9	22.9	11.4	0.0	8.6
その他	28	7.1	17.9	32.1	32.1	10.7	0.0	0.0
特になし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	問5-2 区内の文化活動の場所についての満足度						
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	どちらともいえない	その他	無回答
全体	378	8.7	28.3	16.9	20.4	19.0	0.0	6.6
問5-1 余暇・休日に行っている文化活動の主な活動の場所								
主に瀬谷区内で行っている	113	13.3	46.0	16.8	11.5	8.8	0.0	3.5
主に瀬谷区以外、横浜市内でやっている	107	6.5	27.1	17.8	22.4	23.4	0.0	2.8
主に横浜市外で行っている	120	8.5	17.7	18.5	29.2	23.8	0.0	2.3
その他	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
無回答	24	0.0	12.5	4.2	8.3	16.7	0.0	58.3

余暇・休日に行ってみたい文化活動

・余暇・休日に行ってみたい文化活動について、「特になし」との回答が32.6%と多いが、現在行っていない割合よりは少ない。行ってみたい分野としては、「音楽鑑賞」23.7%（現状19.1%）、「創作活動」19.9%（現状10.4%）、「美術鑑賞」16.1%（現状13.1%）となっており、いずれも、現状の活動割合より高い。

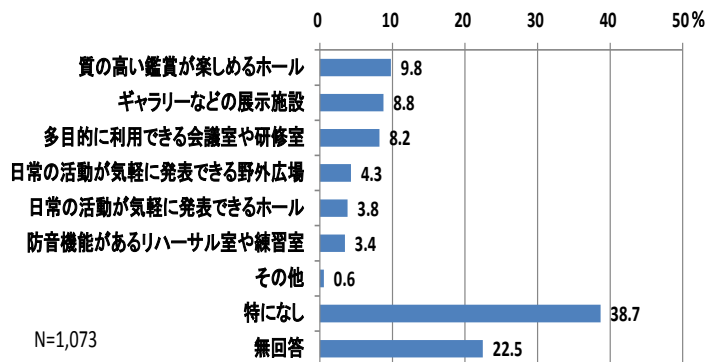
余暇・休日に行ってみたい文化活動



区内の文化活動の場所として不足していると感じているもの

・区内の文化活動の場所として不足していると感じているものは、「質の高い鑑賞が楽しめるホール」9.8%、「ギャラリーなどの展示施設」8.8%、「多目的に利用できる会議室や研修室」8.2%等となっている。

活動するうえで、区内の文化活動の場所として不足していると感じているもの

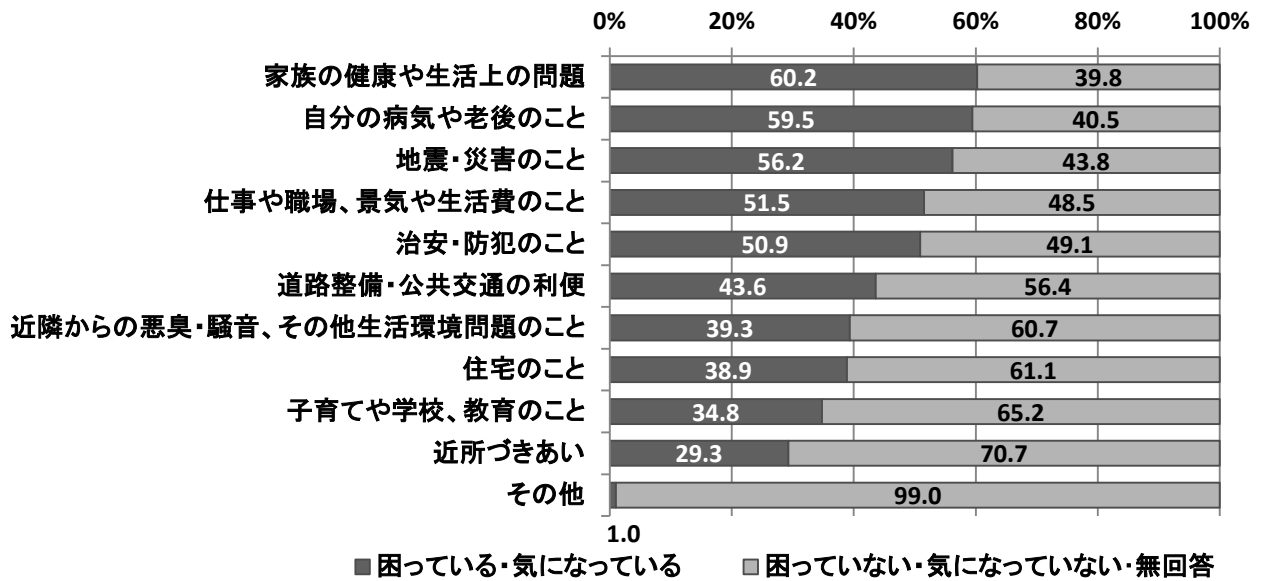


日ごろの生活の心配事

心配事とその相談先

- ・「最近気になることや困っていること」では、「家族の健康や生活上の問題」60.2%、「自分の病気や老後のこと」59.5%、「地震・災害のこと」56.2%、「仕事や職場、景気や生活費のこと」51.5%、「治安・防犯のこと」50.9%となっており、これらはいずれも50%を超えている。
- ・「気になることや困っていること」の相談先は、家族・親戚と回答する割合が全体として高いなかで、「道路整備・公共交通の利便」「近隣からの悪臭・騒音、その他環境問題のこと」は「区役所・行政機関」が最も多くなっている。

最近気になることや困っていること



気になることや困っていることの相談先

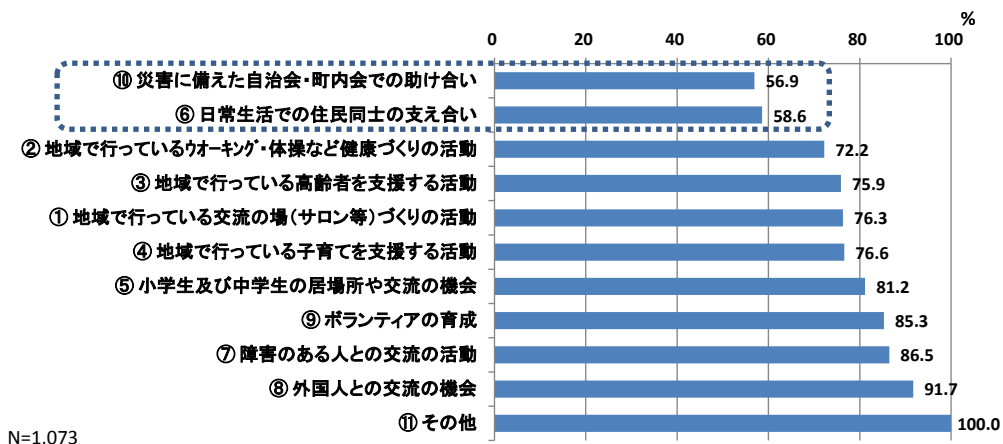
心配事	区役所・行政機関	家族・親戚	友人・知人	近所の人	警察署	自治会・町内会	専門機関(病院・学校など)	相談しない
家族の健康や生活上の問題	6.8	39.0	14.1	2.1	0.2	0.5	12.6	6.1
自分の病気や老後のこと	8.2	37.7	13.9	2.6	0.4	0.8	15.1	6.6
地震・災害のこと	13.3	25.7	10.8	7.5	1.2	9.7	1.6	8.3
仕事や職場、景気や生活費のこと	4.3	28.1	14.7	0.7	0.1	0.1	1.2	12.4
治安・防犯のこと	7.2	16.5	6.9	6.9	13.2	9.6	0.7	7.6
道路整備・公共交通の利便	16.1	7.0	4.9	3.5	1.4	2.1	0.7	15.8
近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境問題のこと	11.0	7.9	5.2	5.9	3.9	6.5	1.0	9.2
住宅のこと	6.6	19.9	6.2	2.7	0.2	2.1	2.7	8.0
子育てや学校、教育のこと	2.8	16.0	14.0	2.4	0.1	0.4	4.6	8.0
近所づきあい	1.5	8.6	8.0	7.9	0.5	3.1	0.4	7.6
その他	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.6

地域で行っている福祉や保健の活動

福祉や保健の活動評価

- ・「地域で行っている福祉や保健の活動」では、「分からない」「無回答」の割合が極めて高い。
- その内、「災害に備えた自治会・町内会での助け合い」56.9%、「日常生活での住民同士の支え合い」58.6%については「分からない」と「無回答」を合わせた割合が比較的少なかった。

「現在の評価」で“分からない+無回答”の割合



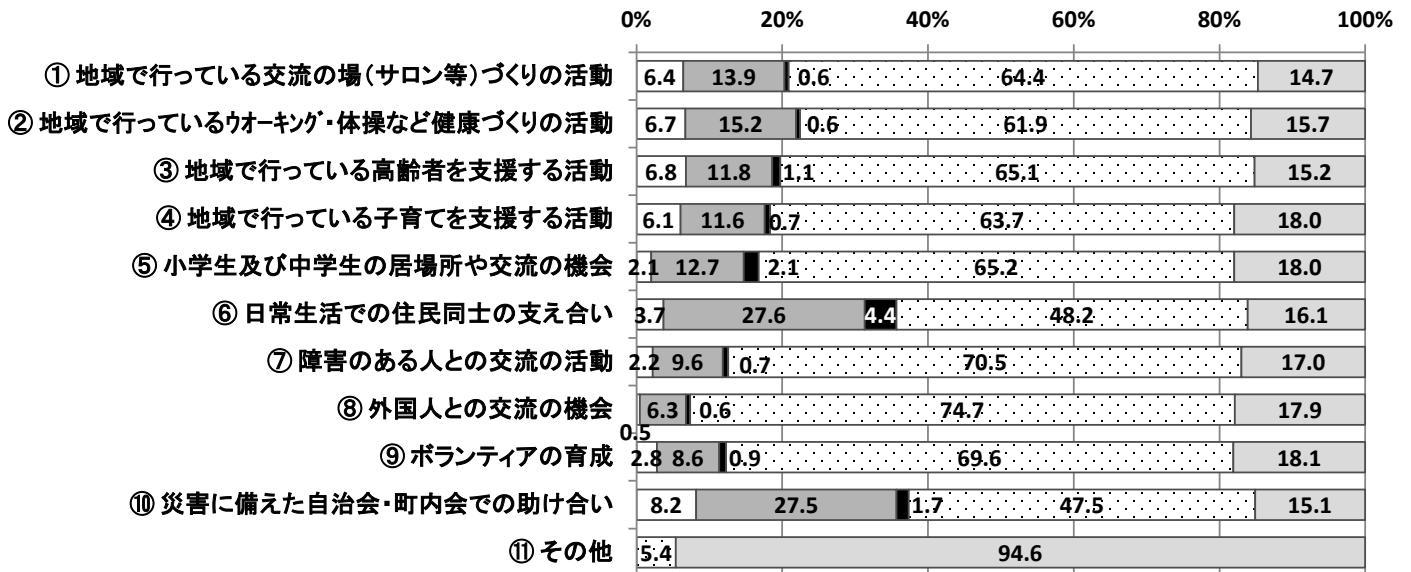
- ・現在の評価では、「満足+やや満足」と「やや不満+不満」の割合を比較すると、満足と評価されている活動が多い中で、「小学生及び中学生の居場所や交流の機会」「障害のある人との交流」「外国人との交流機会」「ボランティアの育成」と評価している方が多くなっている。
- ・満足度が比較的高かったのは「災害に備えた自治会・町内会での助け合い」26.1%、「日常生活での住民同士の支え合い」24.2%である一方で、不満とする割合も「災害に備えた自治会・町内会での助け合い」で17.0%、「日常生活での住民同士の支え合い」で17.1%となった。
- ・「以前(4～5年前)からの変化」では、すべての活動で「変わらない」の割合が最も多い。「悪くなった」が「よくなった」よりも上回っていたのは、「日常生活での住民同士の支え合い」となった。

「現在の評価」

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
① 地域で行っている交流の場(サロン等)づくりの活動	4.4	11.9	5.2		66.8	9.5
② 地域で行っているウォーキング・体操など健康づくりの活動	4.3	16.1	4.8	2.1	61.1	11.1
③ 地域で行っている高齢者を支援する活動	3.2	11.6	6.3	2.5	65.1	10.8
④ 地域で行っている子育てを支援する活動	2.6	13.5	5.4	3.0	62.7	13.9
⑤ 小学生及び中学生の居場所や交流の機会		7.0	6.7	1.9	67.4	13.8
⑥ 日常生活での住民同士の支え合い	0.8	4.8	19.6	11.4	47.3	11.3
⑦ 障害のある人との交流の活動	5.7	4.7			73.9	12.6
⑧ 外国人との交流の機会	0.8	3.5	2.3		78.7	13.0
⑨ ボランティアの育成	0.4	1.7	2.7		72.1	13.1
⑩ 災害に備えた自治会・町内会での助け合い	1.0	4.1	22.0	10.8	46.4	10.5
⑪ その他		5.2			94.8	

□満足 ■やや満足 ▨やや不満 ■不満 □分からない □無回答

「以前（4～5年前）からの変化」

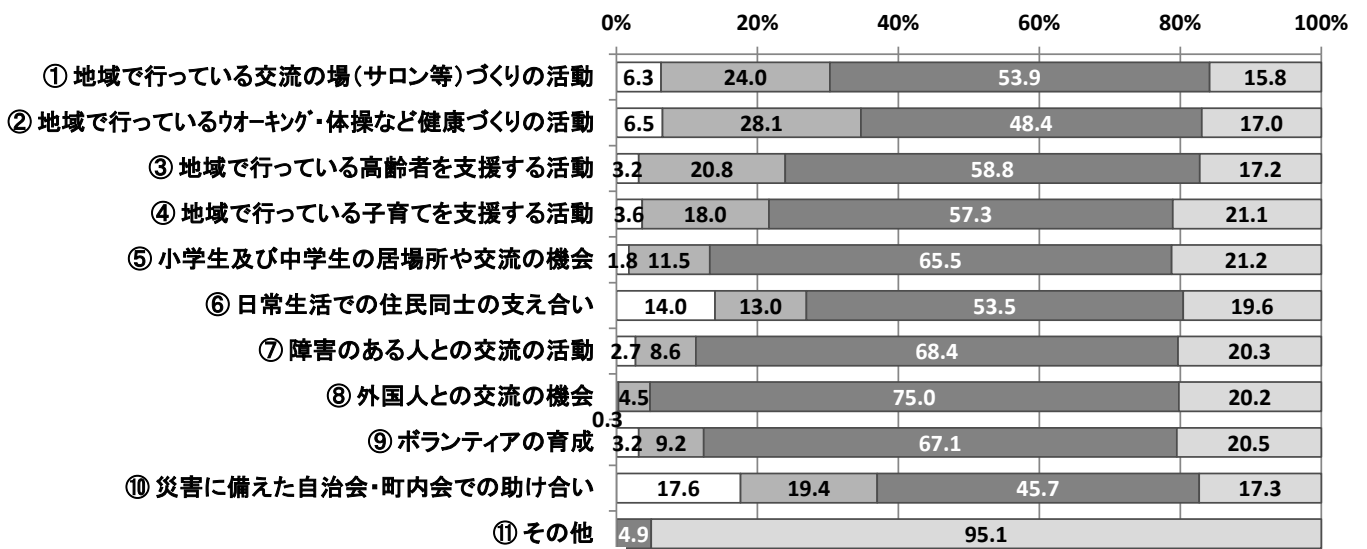


□よくなった □変わらない ■悪くなった □分からない □無回答

福祉や保健の活動への担い手としての参加状況と参加意向

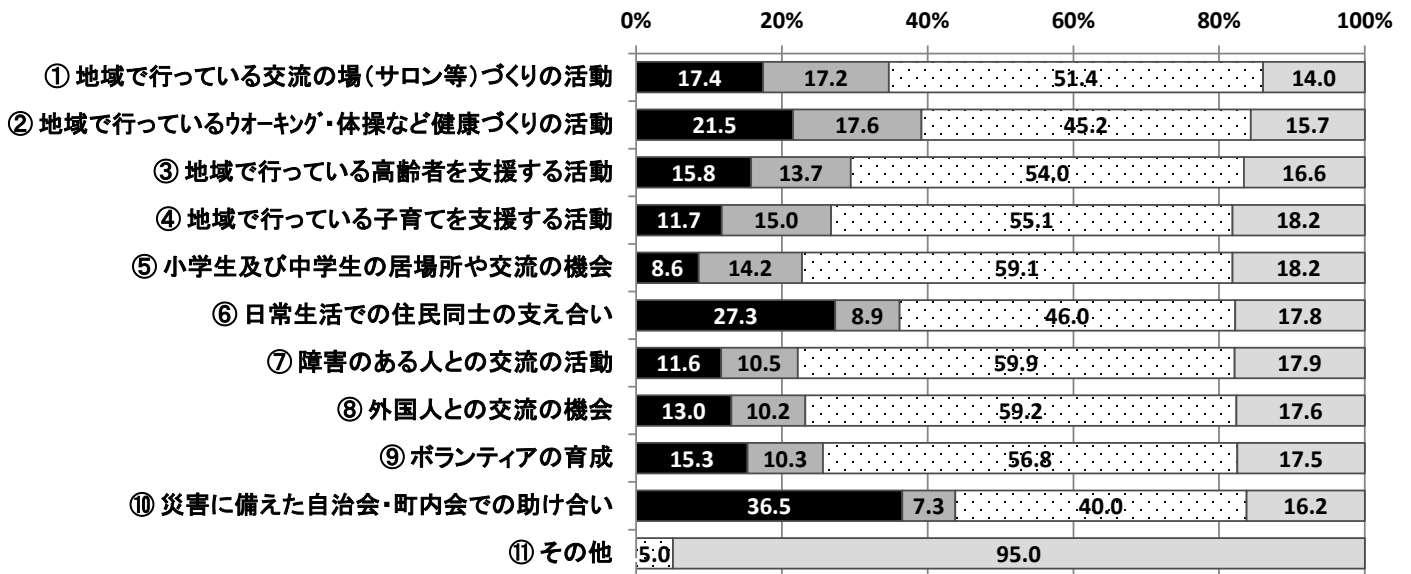
- ・現在の活動参加状況は、「災害に備えた自治会・町内会での助け合い」17.6%、「日常生活での住民同士の支え合い」14.0%であり、その他の活動はいずれも10%に満たない。
- ・今後の参加意向は、「災害に備えた自治会・町内会での助け合い」36.5%、「日常生活での住民同士の支え合い」27.3%、「地域で行っているウォーキング・体操など健康づくりの活動」21.5%が、20%を超えている。その他の活動も「小学生及び中学生の居場所や交流の機会」8.8%以外は10%以上の参加意向となっている。

「現在の参加状況」



□参加している □知っているが参加していない ■知らない □無回答

「今後の参加意向」

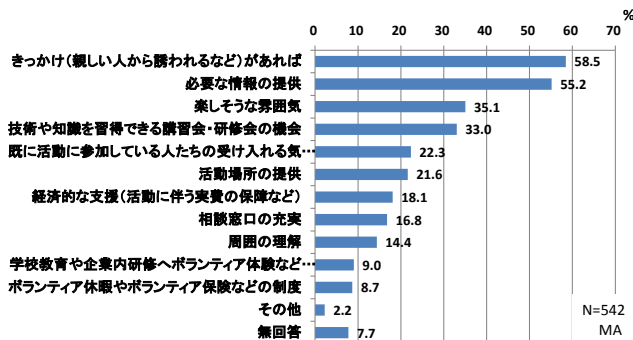


■ 参加したいと思う ■ 参加したいと思わない □ わからない □ 無回答

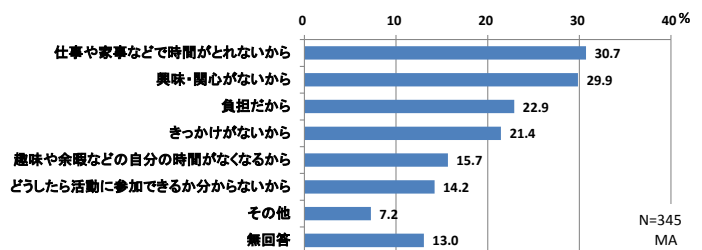
福祉や保健の活動への参加に必要なこと

- ・「担い手として参加するために必要と思われること」では、「きっかけ（親しい人から誘われるなど）があれば」58.5%、「必要な情報の提供」55.2%といずれも半数以上となっている。
- ・「担い手として参加したいと思わない理由」の上位3位は、「仕事や家事などで時間がとれないから」30.7%、「興味・関心がないから」29.9%、「負担だから」22.9%である。一方、「きっかけがないから」21.4%、「どうしても活動に参加できるか分からないから」14.2%など、きっかけや情報提供があれば参加する可能性のある人たちもいる。

担い手として参加するために必要と思われること



担い手として参加したいと思わない理由

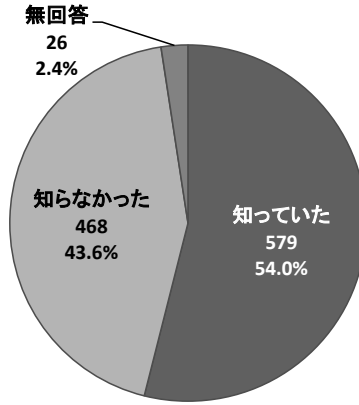


災害時の地域での助け合い

阪神・淡路大震災の教訓の認知

- ・「阪神・淡路大震災で多くの方が近隣住民によって救助されたこと」について、「知っていた」人は54.0%、「知らなかった」人は43.6%で、半数以上の方が知っていたと回答している。

阪神・淡路大震災で多くの方が近隣住民によって救助されたことの周知

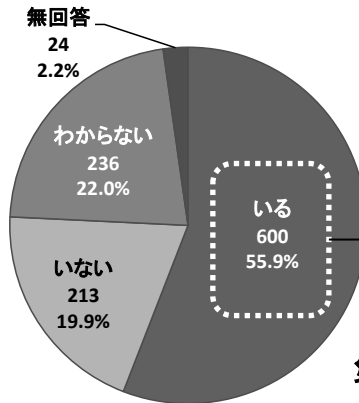


N=1,073

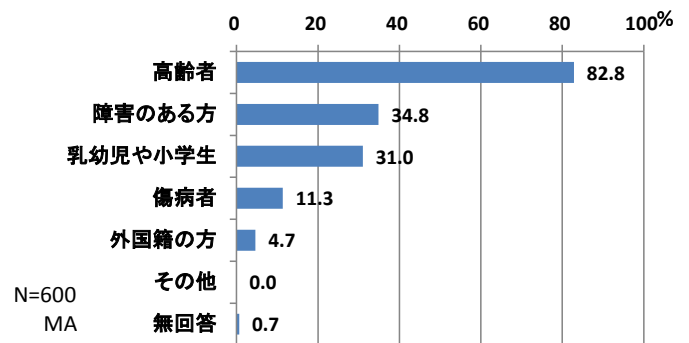
災害時に避難等の支援が必要と思われる方の有無

- ・「家族や近隣に、災害時に避難等の支援が必要と思われる方」がいるかについて、「いる」と回答した人は55.9%と半数以上であった。支援が必要な人については、「高齢者」が82.8%と極めて多い。次に「障害のある方」34.8%、「乳幼児や小学生」31.0%の順となっている。

ご家族や近隣に、災害時に避難等の支援が必要と思われる方の有無



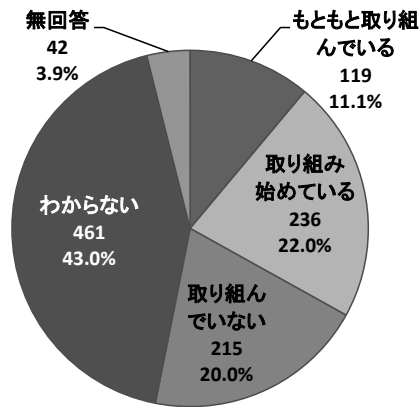
災害時に避難等の支援が必要と思われる方



地域での助け合いの取り組み

・「大きな災害に備えて地域での助け合いの取り組み」についての質問では、「もともと取り組んでいる」11.1%、「取り組み始めている」22.0%を合わせて33.1%が取り組んでいると回答している。「取り組んでいない」と回答した人は20.0%、「わからない」と回答した人は43.0%と最も多くなっている。

大きな災害に備えて地域での助け合いの取り組み



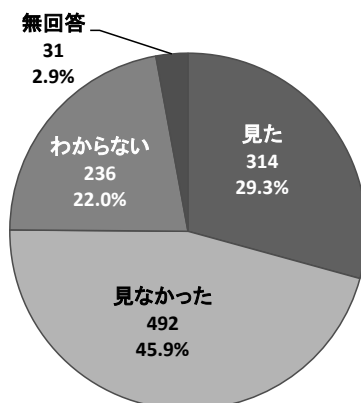
N=1,073

顔の見える関係づくり

災害時に向けて地域が顔の見える関係づくりに取り組むことの必要性とそのため必要なこと

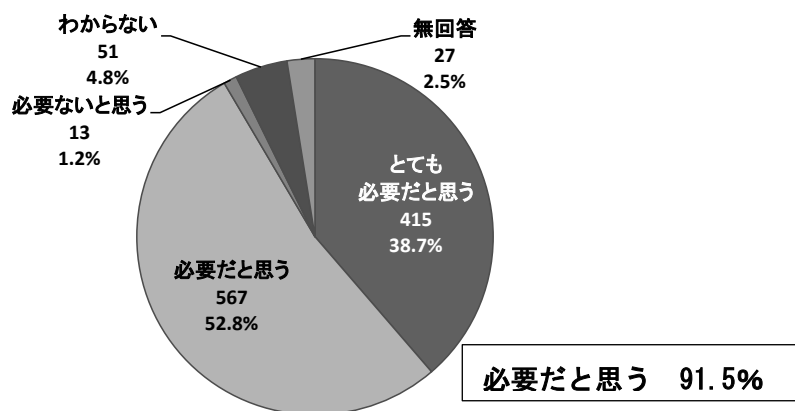
- ・「広報よこはま瀬谷区版 6月号「(保存版)顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」の周知では、「見た」29.3%、「見なかった」45.9%。「わからない」22.0%となっており、見ていない人が半数近くを占めている。
- ・「災害時に向けて地域が顔の見える関係づくりに取り組むことの必要性」については、「とても必要だと思う」が38.7%。「必要だと思う」が52.8%で、合わせて91.5%が必要性を感じている。「必要ない」と回答した人は僅かに1.2%であった。
- ・阪神・淡路大震災の教訓や、広報に掲載された「(保存版)顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」を知らなくても、災害時に向けて、地域が顔の見える関係づくりに取り組むことについてはほとんどの人が必要と考えていることがわかる。
- ・地域で「顔の見える関係」を築いていくために必要なことでは、「近所での挨拶・声掛け」が85.7%と最も多く、次いで「近所でのふだんからの付き合い」66.9%、「自治会・町内会活動への参加」43.3%の順となっており、地域の生活者どうしが日頃からお互いに知り合い、声掛けをすることや、自治会・町内会活動に参加することなどが鍵を握っていることがわかる。

広報よこはま瀬谷区版 6月号「(保存版)顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」の周知



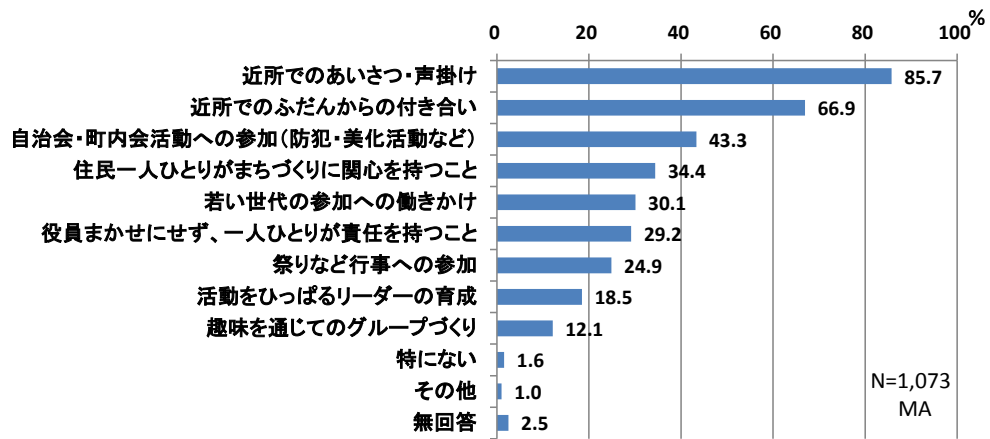
N=1,073

災害時に向けて地域が顔の見える関係づくりに取り組むことの必要性



N=1,073

地域で「顔の見える関係」を築いていくために必要なこと

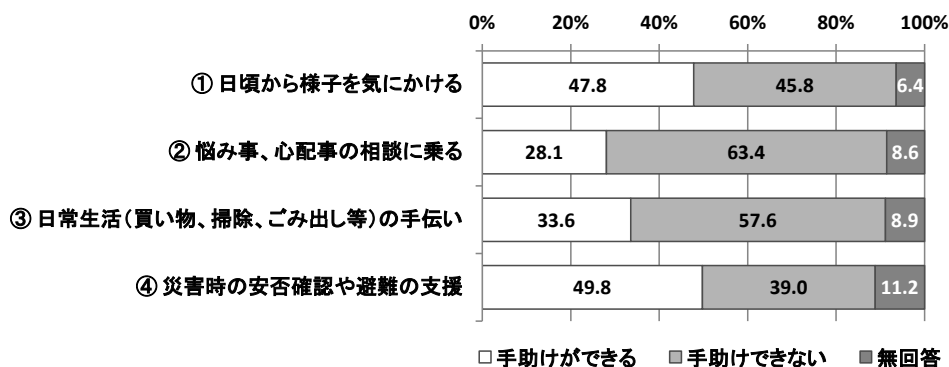


隣近所の人困っていた場合の手助けについて

「手助け」の可能性

・「隣近所の人困っていた場合の手助け」については、「災害時の安否確認や避難の支援」ができると回答した人が49.8%、「日頃から様子を気にかける」ができると回答した人は47.8%と概ね半数の人は、様子を気にかけたり、災害時の安否確認はできると考えている。一方、「悩み事、心配事の相談に乗る」ことが「できる」と回答した人は28.1%、「日常生活の手伝い」が「できる」と回答した人は33.6%、「できない」と回答した人はそれぞれ63.4%、57.6%であり、直接困っている当事者と接するような手助けになると「できない」と考えている人が約6割となっている。

「手助けできる、できない」



「手助け」できない理由

・「手助けできない」理由で最も多かったのは、いずれの場面でも「交流がない」が最も多くなっている。次に多い理由は、手助けの内容によって異なっている。「日頃から様子を気にかける」「日常生活の手伝い」ができない理由としては「時間がない」、「悩み事、心配事の相談に乗る」では、「経験がない」、「災害時の安否確認や避難の支援」では「体力的にしたいくてもできない」が挙げられている。いずれも「やりたくない」とする回答は1割未満と少ないことから、手助けできない理由が解消すれば手助けできる可能性があることを示唆している。

「手助けできない理由」

	時間がない	経験がない	交流がない	体力的にしたいくてもできない	一緒に取り組む仲間がいない	やりたくない	その他
① 日頃から様子を気にかける (N=624)	21.5	14.9	33.8	18.1	4.3	2.6	4.8
② 悩み事、心配事の相談に乗る (N=815)	14.5	24.9	33.0	6.6	4.3	7.7	9.0
③ 日常生活（買い物、掃除、ごみ出し等）の手伝い (N=742)	23.7	12.8	29.8	16.4	3.8	6.2	7.3
④ 災害時の安否確認や避難の支援 (N=448)	0.0	0.0	40.8	32.8	9.8	2.9	13.6

「活動の主体」

- ・地域で取り組まれている 14 の活動について、その活動の主体となって取り組むべきところについて質問したところ、それぞれ最も多かった主体毎の活動は以下の通りであった。

「近所の人」 ----- “日常生活（買い物、掃除、ごみ出しなど）の手伝い”

“近所の子どもの見守りや預かったりすること”

“災害時の高齢者等の避難の手助け”

「自治会・町内会」 ---- “サロン等の気軽に行ける交流の場の活動”

“健康づくりの活動（ウォーキング、体操）”

“地域の見守り”

“身近な公園や道路の清掃”

“親子で集える交流の場づくり”

“災害時の高齢者等の安否確認”

“防犯パトロールの実施”

「ケアプラ・社協」 ---- “外出の介助（車での送迎を含む）”

「区役所・行政機関」 -- “日常生活の困りごとの相談”

“新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成”

“ごみの分別等ごみの減量化”

- ・「近所の人」が主体となって取り組むとされている内容は個別世帯に関わる内容、「ケアプラ・社協」が主体となって取り組むとされているのは専門的な技術等が求められる内容、「区役所・行政機関」が主体となって取り組むとされているのは相談、担い手の発掘・育成、ごみの減量化である。その他の多くの地域の活動は、「自治会・町内会」が主体となって取り組むべきという結果になっており、地域の活動における活動主体として「自治会・町内会」の存在とその活用が重要な要素となっている。

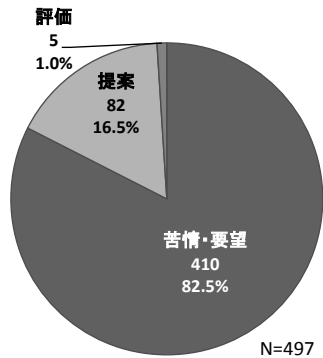
活動の主体となって取り組むべきところ

		個人・ 家族	近所の 人	自治 会・町 内会	地域ケ アプラ ザ、社 会福祉 協議会 等の公 益的団 体	N P O、民 間事業 者	区役 所・行 政機関	無回答
日常生活	① サロン等の気軽に行ける交流の場の活動	4.7	4.8	36.1	21.3	6.9	11.2	15.0
	② 健康づくりの活動（ウォーキング、体操）	10.4	5.9	25.0	24.9	5.1	14.6	14.1
	③ 地域の見守り	2.0	15.9	51.7	3.4	1.6	11.0	14.4
	④ 日常生活の困りごとの相談	14.5	9.1	10.2	11.2	3.9	37.4	13.7
	⑤ 日常生活（買い物、掃除、ごみ出しなど）の手伝い	21.5	25.4	11.8	10.7	11.2	5.8	13.5
	⑥ 外出の介助（車での送迎を含む）	11.3	3.7	3.9	33.4	24.4	7.7	15.6
	⑦ 新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成	1.0	1.1	9.0	21.5	15.4	35.0	16.9
	⑧ ごみの分別等ごみの減量化	24.9	2.3	18.0	1.1	1.5	39.9	12.3
	⑨ 身近な公園や道路の清掃	2.1	4.5	51.1	1.8	4.2	23.2	13.1
子ども	⑩ 近所の子どもの見守りや預かったりすること	7.7	19.7	13.7	12.7	16.1	11.7	18.4
	⑪ 親子で集える交流の場づくり	4.8	4.0	26.1	18.4	8.8	20.7	17.3
防災・防犯	⑫ 災害時の高齢者等の安否確認	5.5	19.1	37.0	5.4	1.6	18.1	13.3
	⑬ 災害時の高齢者等の避難の手助け	4.8	32.2	28.3	6.0	3.5	11.7	13.4
	⑭ 防犯パトロールの実施	0.9	3.8	67.4	2.5	2.4	11.6	11.3

自由記述に見る区民の関心ごと

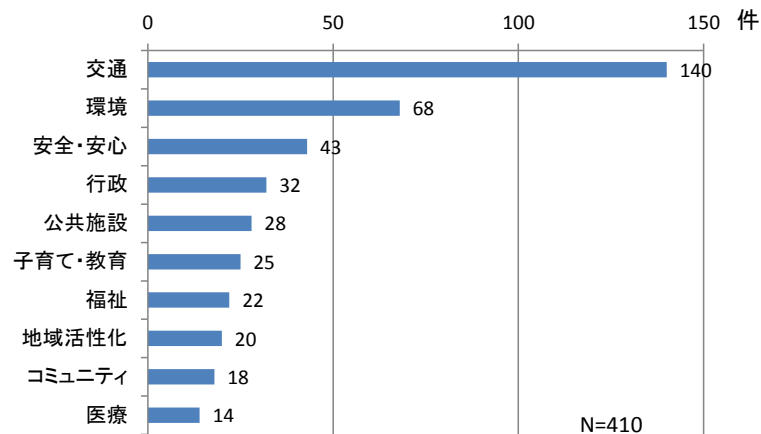
瀬谷区の福祉・保健に関すること、地域を良くするためのご意見・ご提案

- ・アンケートの自由記述には267人の記入があり、意見数は497件にのぼった。
- ・意見の種類は、苦情・要望、提案、評価に大きく区分される。種類ごとの件数では、評価5件、提案82件以外の410件（82.5%）は苦情・要望であった。



分野	苦情・要望	提案	評価	総計
交通	140	6		146
環境	68	10	2	80
行政	32	21	1	54
安全・安心	43	2		45
コミュニティ	18	18		36
公共施設	28	5	1	34
福祉	22	10	1	33
子育て・教育	25	7		32
地域活性化	20	1		21
医療	14	2		16
総計	410	82	5	497

- ・苦情・要望の内容を分野別にみると、「交通」に関わるものが140件と最も多く、次いで「環境」68件、「安全・安心」43件、「行政」32件、「公共施設」28件、「子育て・教育」25件、「福祉」22件の順となっている。“福祉・保健に関すること”よりも“生活環境に関わるまちづくり”の意見の方が多かった。



- ・主な意見(10件以上あるいは上位第1位)の内容は、次の通りである。

「交通」	バスの充実、歩道の整備、道路整備、駐輪場の整備
「環境」	ゴミの分別、マナーの悪さ
「安全・安心」	街灯の整備
「行政」	広報、情報発信の充実
「公共施設」	アクセスの改善
「子育て・教育」	子育て支援、出産支援の充実
「福祉」	高齢者福祉の充実
「地域活性化」	買い物の利便性向上
「コミュニティ」	自治会町内会への加入促進、活性化
「医療」	病院の充実、誘致

分類		意見の種類			
分野	内容	苦情・要望	提案	評価	総計
交通	バスの充実	30	2		32
	歩道の整備	25	3		28
	道路整備	26	1		27
	駐輪場の整備	20			20
	交通安全の確保	8			8
	渋滞の緩和	6			6
	自転車マナーの改善	5			5
	標識やミラーの設置、見直し	4			4
	路上駐車・放置自転車の取り締まり	4			4
	交通アクセスの改善	3			3
	駐車場の整備	3			3
	駅舎の改善	2			2
	自転車専用道路の整備	2			2
	中学生の運賃の見直し	1			1
	歩きスマホ・歩き携帯の禁止	1			1
交通 集計		140	6		146
環境	ゴミの分別・マナーの悪さ	22			22
	公園の整備	6	4		10
	緑地・自然環境の保全	6	2	2	10
	樹木の剪定、除草	7	1		8
	騒音対策	8			8
	歩行喫煙の禁止	5			5
	駅周辺の美化	3	1		4
	たき火の禁止・砂埃対策	3			3
	ペット対策	2			2
	河川の清掃	2			2
	カラス対策	1			1
	パチンコ店等の排除		1		1
	ベンチの設置		1		1
	外国人のマナー向上	1			1
	都市ガスの整備	1			1
野良猫対策	1			1	
環境 集計		68	10	2	80
行政	広報、情報発信の充実	6	8		14
	まちづくり	4	1		5
	アンケート	2	2		4
	イベントの開催		4		4
	休日開庁・平日の時間延長	4			4
	米軍用地の有効活用	1	3		4
	職員によって対応に差がある	3			3
	対応の改善	3			3
	安価な住宅の提供	1	1		2
	顔が見える取組の充実	1	1		2
	区役所が立派過ぎる	2			2
	税金の有効利用	2			2
	民営化	2			2
	行政サービスのIT化		1		1
	市長の年収が高すぎる	1			1
女性区長に頑張ってもらいたい				1	
行政 集計		32	21	1	54

分野	分類 内容	意見の種類			
		苦情・要望	提案	評価	総計
安全・安心	街灯の整備	14			14
	防災対策の強化	9			9
	冠水対策・側溝等の清掃	6			6
	パトロールの強化	5			5
	防犯対策の徹底	5			5
	防災に関する指導	3			3
	食の安全の確保		1		1
	積雪対策		1		1
	暴走族対策	1			1
安全・安心 集計		43	2		45
コミュニティ	自治会町内会への加入促進、活性化	8	2		10
	ボランティア	2	5		7
	近隣との交流	3	1		4
	空き教室・施設の利用	1	3		4
	役員の高齢化	2	2		4
	地域活動	2	1		3
	異世代交流		2		2
	自治会館等の整備		2		2
コミュニティ 集計		18	18		36
公共施設	アクセスの改善	8	1	1	10
	図書館の整備、機能の充実	6	2		8
	スポーツ施設・プール	5	1		6
	地区センター、ケアプラザ等の整備・充実	6			6
	区役所の利便性向上	2			2
	市営墓地		1		1
	文化施設の整備・充実	1			1
公共施設 集計		28	5	1	34
福祉	高齢者福祉の充実	6	3		9
	生活保護	5			5
	高齢者の居場所づくり	3	1		4
	障害児・者対策の充実	2	2		4
	福祉の充実	3		1	4
	健康づくり		3		3
	保険料	2	1		3
	各種補助の所得制限の撤廃	1			1
福祉 集計		22	10	1	33
子育て・教育	子育て支援、出産支援の充実	8			8
	スポーツのできる公園整備	5			5
	教育の充実、支援	3	1		4
	子どもの遊び場確保	3			3
	清掃活動への子どもの参加		3		3
	親世代への教育	2			2
	中高生への支援		2		2
	学区の見直し	1			1
	子どもの見守り		1		1
	小児医療費助成の拡充	1			1
	心の教育の充実	1			1
中学校給食の導入	1			1	
子育て・教育 集計		25	7		32
地域活性化	買い物の利便性向上	13			13
	瀬谷駅南口の再開発	3			3
	地域活性化	2	1		3
	農業の振興	1			1
	郵便ポストの設置	1			1
地域活性化 集計		20	1		21
医療	病院の充実、誘致	9			9
	健康診断	3	1		4
	予防接種	1	1		2
	相談体制の充実	1			1
医療 集計		14	2		16
総計		410	82	5	497

平成25年度 瀬谷区・暮らしや地域に関する意識調査

区民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから区政へのご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

瀬谷区では、『幸せが実感できる瀬谷づくり』を基本理念に区政の運営に取り組んでいます。

このたび、皆様のお住まいの地域での生活や福祉保健に関することについてお伺いし、今後の区政運営や次期『瀬谷区地域福祉保健計画』（裏面参照）の策定の基礎資料とするため、「平成25年度瀬谷区・暮らしや地域に関する意識調査」を実施させていただくことになりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年9月

瀬谷区長 薬師寺 えり子

～調査票へのご記入にあたって～

本調査は、住民基本台帳から無作為抽出された区内在住の18歳以上の3,000名の方を対象に実施させていただいています。ご回答いただいた内容については、調査の目的以外に使用することは一切ございません。（返送の際、住所・氏名のご記入は必要ありません。）

- (1) 調査票は、封筒のあて名ご本人様が回答してください。
- (2) 回答は、該当する番号に○印をつけていただくか、自由に意見を記入していただく形式になっています。○の数は、“○は1つ”“○はいくつでも”など質問によって異なりますのでご注意ください。「その他」の場合には、その番号に○をつけて（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- (3) 答えにくい設問には、無理に回答していただかなくても結構です。
- (4) この用紙の裏面には『地域福祉保健計画』についての説明が記載されていますので、参考にご一読ください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

平成25年9月30日（月）までに

ポストにご投函ください（切手は不要です）。

本調査に関するご質問がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

担当：瀬谷区役所 福祉保健課 運営企画係 齋藤、堀江、二階堂

電話：045-367-5702 FAX：045-365-5718

区政推進課 企画調整係 土田、和田

電話：045-367-5631 FAX：045-365-1170

瀬谷区地域福祉保健計画とは

『瀬谷区地域福祉保健計画』は、「地域に暮らす誰もがしあわせな生活をおくれるように区民・団体・行政の役割と連携を明確にした支えあう仕組みをつくる」ことを目的とした計画です。

現在は第2期の計画期間（平成23年度から平成27年度まで）の3年目に入っています。

計画の基本理念は第1期計画に引き続き、「**みんなで作る みんなのしあわせ**」としています。計画の構成は、瀬谷区全体を対象とした「**全域計画**」と瀬谷区を12の地区に分けて策定した「**地区別計画**」から構成されています。

全域計画は区域全体を対象とした、区レベルで取り組む行政施策や事業、区民の活動を応援するための取組等を盛り込んだ内容です。

地区別計画は区内を12の地区連合自治会・町内会の単位で、自治会・町内会や地区社会福祉協議会など各地区に応じた推進母体を中心となって、話し合いのうえ策定したものです。この計画は、地域の人材と資源を活かした身近な支えあい活動などを盛り込んだ、区民の皆さんが主役の計画であり、すみよい瀬谷区のまちづくりを目指した内容です。

取組を進めたことによって、地域での見守り体制づくりが進んだり、地域サロン等地域での交流の場が増加しました。一方で障害者や外国籍の人への取組や担い手不足に対する取組は、まだ十分とはいえない状況です。

今回の調査結果につきましては、平成28年度を初年度とする第3期計画を策定するための基礎資料とし、全域計画の策定委員会や地区別計画を策定する各地区の推進母体で活用させていただきます。

『瀬谷区地域福祉保健計画』について詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください。

瀬谷区 地域福祉保健計画

検索



お住まいの周辺の生活環境等についてお伺いします

問1 現在のお住まいの周辺の生活環境等の満足度についてお伺いします。また、以前(4~5年前)と比べてどのように変わったと思いますか。(「満足度」、「以前と比べて」それぞれに○は1つ)

記入例	満足度					以前と比べて				
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	よくなった	変わらなかった	悪くなった	分からない	
① 公共交通機関（電車・バス）の便	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
② 日常の買い物	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
③ 街並みや景観、地域の住環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
④ 道路・歩道の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑤ 駐車場・駐輪場の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑥ 公園の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑦ お祭りなどの地域の交流イベント	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑧ 商店街の活力、賑わい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑨ 樹林地や水辺などの自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑩ 農業や地産地消が盛んな環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑪ 文化・スポーツ活動のための環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑫ ボランティア活動のための環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑬ 子育てのための環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑭ 高齢者のための環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑮ 障害者のための環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑯ 病院・救急医療などの環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑰ 地域の防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑱ 地震や水害などの災害に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑲ ごみの分別・リサイクルなどの取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
⑲ 身近な区役所窓口のサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
○ お住まいの周辺の総合的な環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

問1-1 上記①~⑳の質問項目のうち、あなたの生活周辺の環境にとって、どれが特に重要とご思いますか。
(該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

問1-2 上記①~⑳の質問項目のうち、区役所が取り組む課題として、どれが特に重要とご思いますか。

(該当する項目の番号を3つまで記入)

--	--	--

問 1-3 あなたはこれからも瀬谷区に住み続けたいとご思いますか。(○は1つ)

1 住み続けたい	2 できれば住み続けたい	
3 できれば転出したい	4 転出したい	5 わからない

現在の区役所の仕事についてお伺いします

問2 現在の区役所の仕事ぶりについて、どう思いますか。(それぞれの項目ごとに○は1つ)

記入例	仕事ぶり				仕事ぶり			
	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	① 仕事が的確・公正で、信頼できる。	1	2	3	4			
② 窓口や電話での対応が丁寧である。	1	2	3	4				
③ 区民や地域の活動がサポートできている。	1	2	3	4				
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている。	1	2	3	4				
① 仕事が的確・公正で、信頼できる	1	2	3	4				
② 窓口や電話での対応が丁寧である	1	2	3	4				
③ 区民や地域の活動がサポートできている	1	2	3	4				
④ 効率的で合理的な組織経営が行われている	1	2	3	4				
⑤ 窓口のオープン時間が区民のニーズに合っている	1	2	3	4				
⑥ 必要な人に分かりやすく行政情報を提供している	1	2	3	4				
⑦ 区民のニーズや課題を把握し、施策や業務に反映できている	1	2	3	4				

問3 広報よこはま瀬谷区版の記事としてどのような分野の行政情報を充実してほしいですか。(○はいくつでも)

1 戸籍・住所・印鑑	2 保険・年金	3 税金	4 健康・医療
5 福祉	6 子ども・青少年	7 防災・防犯	8 暮らし・衛生
9 区民活動	10 まちづくり	11 その他(具体的に: _____)	

問4 広報区版の記事として、今後読んでみたいと思う情報はどれですか。(○はいくつでも)

1 地域のお店情報	2 区内魅カスポット紹介	3 地域のイベント
4 区民活動紹介	5 読者の投稿	6 その他(具体的に: _____)

余暇・休日に行っている文化活動についてお伺いします

横浜市ではトリエンナーレをはじめ、美術、ダンス、音楽など、横浜の活力と創造力を高めるための文化施策に力を入れてきました。そこで、地域における文化活動の状況についてお伺いします。

問5 あなたが余暇・休日に行っている文化活動はどのようなものですか。(○はいくつでも)

1 美術鑑賞	2 創作活動(絵画、書道、華道、茶道など)
3 舞台鑑賞	4 ダンス、演劇活動
5 音楽鑑賞	6 演奏活動
7 その他(具体的に: _____)	8 特になし→問6へ

問5-1 (問5で1から7と答えた方) あなたが余暇・休日に行っている文化活動は主にどこの場所で行っていますか。(○は1つ)

1 主に瀬谷区内で行っている	2 主に瀬谷区以外の横浜市内で行っている
3 主に横浜市外で行っている	4 その他(具体的に: _____)

問5-2 (問5で1から7と答えた方) あなたは区内の文化活動の場所に満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 どちらかといえば満足している
3 どちらかといえば満足していない	4 満足していない
5 どちらともいえない	6 その他(具体的に: _____)

問6 あなたが余暇・休日に行ってみたい文化活動はありますか。(○はいくつでも)

1 美術鑑賞	2 創作活動(絵画、書道、華道、茶道など)	3 舞台鑑賞
4 ダンス、演劇活動	5 音楽鑑賞	6 演奏活動
7 その他(具体的に: _____)	8 特になし	

問7 あなたが活動するうえで、区内の文化活動の場所として不足していると感じているものは、どのようなところと考えますか。(○は1つ)

1 ギャラリーなどの展示施設	2 日常の活動が気軽に発表できるホール
3 質の高い鑑賞が楽しめるホール	4 防音機能があるリハーサル室や練習室
5 多目的に利用できる会議室や研修室	6 日常の活動が気軽に発表できる野外広場
7 その他(具体的に: _____)	8 特になし

日ごろの生活の心配事等についてお伺いします

問8 最近気になることや困っていることがありますか。困っている場合はそれぞれに相談する先をお答え下さい。

記入例	困っている(相談先の○はいくつでも)	困っている(相談先の○はいくつでも)							
		区役所・行政機関	家族・親戚	友人・知人	近所の人	警察署	自治会・町内会	専門機関(病院・学校など)	相談しない
① 自分の病気や老後のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
② 家族の健康や生活上の問題	1	2	3	4	5	6	7	8	9
③ 仕事や職場、景気や生活費のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
④ 子育てや学校、教育のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑤ 近隣からの悪臭・騒音、その他生活環境問題のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑥ 近所づきあい	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑦ 地震・災害のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑧ 治安・防犯のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑨ 住宅のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑩ 道路整備・公共交通の利便	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑪ その他(具体的に: _____)	1	2	3	4	5	6	7	8	9

福祉や保健についてお伺いします

問9 地域で行っている福祉や保健の活動について下記の項目についてお伺いします。はじめに㉠「現在の評価」、㉡「以前(4~5年前)からの変化」について設問に従ってお答えください。次にこれらの活動に「担い手」として参加されているかについてお伺いします。㉢「現在の参加状況」、㉣「今後の参加意向」についてお答えください。 ※ 「担い手として参加」とは、事前の準備や当日の受付など、主体的に活動に関わることを意味します。(それぞれの項目ごとに○は1つ)

記入例	㉠現在の評価					㉡以前からの変化				㉢現在の参加状況			㉣今後の参加意向								
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	よくなりました	変わりました	悪くなりました	分かりません	参加している	知っているが参加していません	知らない	参加したと思う	参加したと思わない	わかりません						
																1	2	3	4	5	1
① 地域で行っている交流の場(サロン等)づくりの活動	2	3	4	5	1	2	3	4	5	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3		
② 地域で行っているお茶会・体操など健康づくりの活動	2	3	4	5	1	2	3	4	5	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3		
③ 地域で行っている高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
④ 地域で行っている子育てを支援する活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑤ 小学生及び中学生の居場所や交流の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑥ 日常生活での住民同士の支え合い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑦ 障害のある人との交流の活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑧ 外国人との交流の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑨ ボランティアの育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑩ 災害に備えた自治会・町内会での助け合い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
⑪ その他(具体的に: _____)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3

問9-1 問9の㉣「今後の参加意向」で①~⑪に一つ以上「参加したいと思う」に○を付けた方にお伺いします。あなたにとって、担い手として参加するために必要と思われることは何ですか。(○はいくつでも)

1 きっかけ(親しい人から誘われるなど)があれば	2 必要な情報の提供
3 経済的な支援(活動に伴う実費の保障など)	4 活動場所の提供
5 技術や知識を習得できる講習会・研修会の機会	6 相談窓口の充実
7 学校教育や企業内研修へボランティア体験などの導入	8 周囲の理解
9 ボランティア休暇やボランティア保険などの制度	10 楽しそうな雰囲気
11 既に活動に参加している人たちの受け入れる気持ち	
12 その他(具体的に: _____)	

問9-2 問9の㉣「今後の参加意向」で①~⑪に一つ以上「参加したいと思わない」に○を付けた方にお聞きします。担い手として参加したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 仕事や家事などで時間がとれないから	2 どうしたら活動に参加できるか分からないから
3 きっかけがないから	4 興味・関心がないから
5 趣味や余暇などの自分の時間がなくなるから	6 負担だから
7 その他(具体的に: _____)	

災害時の地域での助け合いについてお伺いします

問 10 阪神・淡路大震災では、消防、警察、自衛隊による救出者約 8,000 人(約2割)に対して、市民による救助者は約 27,000 人(約8割)と消防庁より報告されています。あなたは多くの方が近隣住民によって救助されたことを知っていましたか。(○は1つ)

- 1 知っていた 2 知らなかった

問 11 あなたを含めご家族や近隣に、災害時に避難等の支援が必要と思われる方がいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 いない 3 わからない

問 11-1 問 11 で「1 いる」に○を付けた方にお伺いします。災害時に避難等の支援が必要と思われる方は、どのような方ですか。(○はいくつでも)

- 1 高齢者 2 障害のある方 3 乳幼児や小学生 4 傷病者
5 外国籍の方 6 その他(具体的に: _____)

問 12 大きな災害の発生が予想されていますが、災害に備えてあなたの地域では助け合いについて取り組みを始めていますか。(○は1つ)

- 1 もともと取り組んでいる 2 取り組み始めている 3 取り組んでいない 4 わからない

問 13 区では今年度、ご近所で「顔の見える関係」づくりをすすめ、日頃からお互いに気にかける「見守り」から、災害が起きた時にもご近所で、スムーズに助け合いができるような地域づくりを目指す取組を進めています。この取組を広報よこはま瀬谷区版6月号「(保存版)顔の見える関係づくりから災害時の助け合いへ」で全戸配布しました。あなたはこの「保存版」を見ましたか。(○は1つ)

- 1 見た 2 見なかった 3 わからない

問 14 災害時に地域での助け合いがうまくいくためには、日頃から地域のなかで、お互い気に掛け合ったり、協力し合ったりして、顔の見える関係づくりに取り組むことが必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 とても必要だと思う 2 必要だと思う 3 必要ないと思う 4 わからない

広報よこはま瀬谷区版6月号保存版は瀬谷区のホームページからダウンロードできます。

瀬谷 顔の見える

問 15 地域で「顔の見える関係」を築いていくためには何が**必要だ**と思いますか。(○はいくつでも)

- 1 近所でのあいさつ・声掛け 2 近所でのふだんからの付き合い
3 祭りなど行事への参加 4 自治会・町内会活動への参加(防犯・美化活動など)
5 趣味を通じてのグループづくり 6 住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと
7 役員まかせにせず、一人ひとりが責任を持つこと 8 活動をひっぱりリーダーの育成
9 若い世代の参加への働きかけ 10 特にな
11 その他(具体的に: _____)

問 16 隣近所の人困っていた場合、それぞれの項目について手助けができますか。できない場合、その理由は何ですか。(手助けができない場合 ○はいくつでも)

記入例	手助けできる	手助けができない (○はいくつでも)						
		時間がない	経験がない	交流がない	体力的にたすくてもできない	一緒に取り組む仲間がない	やりたくない	その他
⑤ 日頃から様子を気にかける	○	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 悩み事、心配事の相談に乗る	1	○	3	4	○	6	7	8
⑦ 日常生活(買い物、掃除、ごみ出し等)の手伝い	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 災害時の安否確認や避難の支援	1	—	—	○	5	6	7	8
① 日頃から様子を気にかける	1	2	3	4	5	6	7	8
② 悩み事、心配事の相談に乗る	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 日常生活(買い物、掃除、ごみ出し等)の手伝い	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 災害時の安否確認や避難の支援	1	—	—	4	5	6	7	8

問 17 次の活動に対して、どこが主体となって取り組むのがふさわしいと思いますか。(それぞれに○は1つ)

記入例	個人・家族	近所の人	自治会・町内会	地域ケアプラザ、社会福祉協議会等の公益的団体	NPO、民間事業者	区役所・行政機関	個人・家族	近所の人	自治会・町内会	協議会等の公益的団体	地域ケアプラザ、社会福祉協議会等の公益的団体	NPO、民間事業者	区役所・行政機関	
														個人・家族
① サロン等の気軽に行ける交流の場の活動	1	2	○	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
② 健康づくりの活動(ウォーキング、体操)	1	2	3	○	5	6	1	2	3	4	5	6		
③ 地域の見守り	1	○	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
日常生活	④ 日常生活の困りごとの相談	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	⑤ 日常生活(買い物、掃除、ごみ出しなど)の手伝い	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	⑥ 外出の介助(車での送迎を含む)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	⑦ 新たなボランティア活動の担い手の発掘・育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	⑧ ごみの分別等ごみの減量化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	⑨ 身近な公園や道路の清掃	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	子ども	⑩ 近所の子どもの見守りや預かたりすること	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		⑪ 親子で集える交流の場づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	防災・防犯	⑫ 災害時の高齢者等の安否確認	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑬ 災害時の高齢者等の避難の手助け		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
	⑭ 防犯パトロールの実施	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	

F10 あなたのお住まいの地域をお知らせください。(○は1つ)

1 相沢一丁目	2 相沢二丁目	3 相沢三丁目	4 相沢四丁目
5 相沢五丁目	6 相沢六丁目	7 相沢七丁目	8 阿久和西一丁目
9 阿久和西二丁目	10 阿久和西三丁目	11 阿久和西四丁目	12 阿久和東一丁目
13 阿久和東二丁目	14 阿久和東三丁目	15 阿久和東四丁目	16 阿久和南一丁目
17 阿久和南二丁目	18 阿久和南三丁目	19 阿久和南四丁目	20 卸本町
21 上瀬谷町	22 北町	23 北新	24 五貫目町
25 下瀬谷一丁目	26 下瀬谷二丁目	27 下瀬谷三丁目	28 瀬谷一丁目
29 瀬谷二丁目	30 瀬谷三丁目	31 瀬谷四丁目	32 瀬谷五丁目
33 瀬谷六丁目	34 瀬谷町	35 竹村町	36 中央
37 東野	38 東野台	39 中屋敷一丁目	40 中屋敷二丁目
41 中屋敷三丁目	42 橋戸一丁目	43 橋戸二丁目	44 橋戸三丁目
45 二ツ橋町	46 本郷一丁目	47 本郷二丁目	48 本郷三丁目
49 本郷四丁目	50 三ツ境	51 南瀬谷一丁目	52 南瀬谷二丁目
53 南台一丁目	54 南台二丁目	55 宮沢一丁目	56 宮沢二丁目
57 宮沢三丁目	58 宮沢四丁目	59 目黒町	

瀬谷区の福祉・保健に関することや、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。箇条書きでお願いします。

- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

これで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、平成25年9月30日(月)までにポストにご投函ください(切手は不要です)。

